

スクールインターンシップで学んだこと

社会学部 教育文化学科 3 年次生

◇参加した理由

私がスクールインターンシップに参加した理由は、大きく三つあります。

一つ目は、日本の高校の学校現場の日常を、実際に自分の目で見て知りたかったからです。私は大学から日本に来た留学生で、それ以前は中国で学生生活を送っていました。そのため、日本の高校がどのような雰囲気、生徒や先生がどのように関わっているのかを、机上の知識ではなく、現場で体験したいと考えました。

二つ目は、授業だけでなく、登校指導や行事、日常の声かけなど、授業外も含めた教師の役割を学びたいと思ったからです。

三つ目は、将来教員を目指すうえで、自分に足りない点や課題を早い段階で見つけたいと考え、応募しました。

◇研修内容

- ・登校指導や校内での生徒対応
- ・日本史探究、世界史探究、公共、政治経済の授業見学
- ・政治経済の授業での生徒の学習サポート
- ・講座、避難訓練など校内行事の見学
- ・部活動(弓道部)の見学
- ・清掃活動や SHR での生徒との関わり

◇インターンシップで得た学び

今回のスクールインターンシップを通して、学校現場でしか学べない多くのことを実感しました。特に強く感じたのは、生徒との関係づくりの大切さです。登校指導や校内ですれ違う際、生徒が元気よく挨拶をしてくれたことが印象に残っています。挨拶を重ねる中で、少しずつ生徒との距離が縮まり、安心して学校生活を送れる雰囲気づくりが、教師の大切な役割の一つであると感じました。

また、授業を支える力の重要性も学びました。政治経済の授業では、自由貿易や比較生産費説を扱う場面で、生徒の学習をサポートする機会がありました。自分なりに考えながら説明し、生徒から「分かった」と言ってもらえた経験は大きな喜びでした。一方で、分かっていることを分かりやすく伝える難しさも実感し、説明力をさらに磨く必要があると感じました。

さらに、資料を活用した議論やグループでの発表を通して、生徒が主体的に学ぶ授業の力を感じました。生徒同士が意見を交換しながら理解を深めていく姿を見て、教師は答えを教える存在であると同時に、生徒の考えを引き出す役割を担っているのだと学びました。

◇参加を考えている方へ

スクールインターンシップでは、実際に学校現場に立ってみて初めて気づくことがたくさんあります。授業の工夫だけでなく、生徒との何気ない会話や行事の準備、先生方の姿勢など、教室の中では学ぶことのできない学びにあふれています。

不安を感じることもあると思いますが、その一歩が自分自身の成長につながります。スクールインターンシップに挑戦しようとしている皆さんを、心から応援しています。